

製品名: Bag-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07440**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	BAG3
別名	BAG3; BIS; BAG family molecular chaperone regulator 3; BAG-3; Bcl-2-associated athanogene 3; Bcl-2-binding protein Bis; Docking protein CAIR-1
遺伝子 ID	9531.0
SwissProt ID	O95817
免疫原	抗血清はヒト BAG3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 411-460

背景

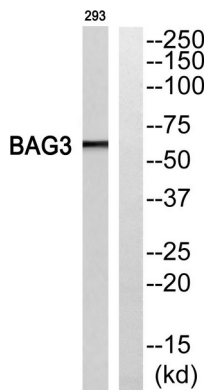
BAG タンパク質は Hip と競合して Hsc70/Hsp70 ATPase ドメインへの結合を促進し、基質の遊離を促進する。すべての BAG タンパ

ク質はC末端付近に約45アミノ酸のBAGドメインを持っているが、N末端領域は大きく異なっている。この遺伝子によってコードされるタンパク質はN末端領域にWWドメイン、C末端領域にBAGドメインを持っている。BAG1、BAG2、およびBAG3のBAGドメインはin vitro および哺乳類細胞においてHsc70 ATPaseドメインと特異的に相互作用する。3つのタンパク質はすべてHsc70のATPaseドメインに高い親和性で結合し、Hip抑制様式でシャペロン活性を阻害する。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: 基質遊離を促進することでHSP70/HSC70のシャペロン活性を阻害する。抗アポトーシス活性を有する。類似性:BAGドメインを1つ含む。類似性:WWドメインを2つ含む。サブユニット:HSP70/HSCシャペロンのATPaseドメインに結合します。Bcl-2およびPLC- γ に結合します。

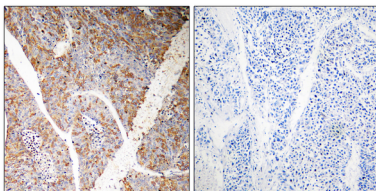
研究分野

細胞生物学

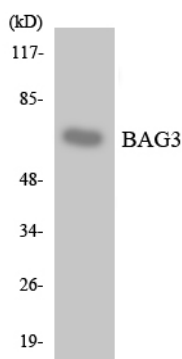
画像データ



BAG3抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはBAG3ペプチドでブロッキングされている。



BAG3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学染色。右レーンはBAG3ペプチドでブロッキングされている。



BAG3抗体を使用したK562細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。